

製品名: eIF5A2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10394**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	17kDa

抗原情報

遺伝子名	EIF5A2
別名	EIF5A2; Eukaryotic translation initiation factor 5A-2; eIF-5A-2; eIF-5A2; Eukaryotic initiation factor 5A isoform 2
遺伝子 ID	56648.0
SwissProt ID	Q9GZV4
免疫原	抗血清はヒト eIF5A2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 78-127

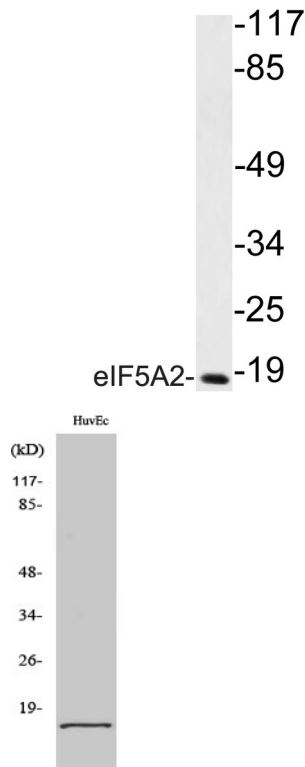
背景

機能: eIF-5A のタンパク質合成における正確な役割は不明ですが、最初のペプチド結合の形成を促進することで機能しま

す。PTM: eIF-5A は、リシンにブチルアミノ基 (スベルミジン由来) を付加した翻訳後修飾であるヒプシン残基を持つ唯一の真核生物タンパク質であると考えられます。類似性: eIF-5A ファミリーに属します。組織特異性: 卵巣癌および大腸癌細胞株で発現しています (タンパク質レベル)。精巣で高発現しています。一部の癌細胞で過剰発現している。機能: タンパク質生成における eIF-5A の正確な役割は不明であるが、最初のペプチド結合の形成を促進することで機能する。翻訳後修飾: eIF-5A は、リシンにブチルアミノ基 (スベルミジン由来) を付加した翻訳後修飾であるヒプシン残基を持つ唯一の真核生物タンパク質と考えられる。類似性: eIF-5A ファミリーに属する。組織特異性: 卵巣癌および大腸癌細胞株で発現する (タンパク質レベル)。精巣で高発現する。一部の癌細胞で過剰発現する。

研究分野

画像データ



eIF5A2 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。

1: 1000 希釈の eIF5A2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析